

請 願 文 書 表

受 理 番 号	第 7 号
受理年月 日	令和 6 年 2 月 8 日
件 名	「イスラエル政府に対して、直ちに戦闘をやめるよう要請すると同時に、UNRWAへの資金拠出の再開を求める意見書」採択の請願
請願者の住所 及 び 氏 名	群馬県桐生市 桐生・みどり地区平和委員会
請願の要 旨	請願趣旨 イスラエルとハマスの戦闘から 4 ヶ月が過ぎ、ガザ地区では27,000人以上の人たちが犠牲になり、今でも毎日のように病院や学校等がイスラエルにより攻撃され、犠牲者は毎日のように増え続けている。これら犠牲者の約 7 割は子どもと女性だといわれている。子どもたちが「病気、栄養失調、戦闘という三重の死の脅威に直面している」とユニセフ（国連児童基金）は警鐘を鳴らしている。 このような中、「国連パレスチナ難民救済事業機関」（UNRWA）は、ガザへの援助を主に担っており、パレスチナ人が完全な壊滅状態に陥るのを防ぐ最後の防波堤になっている。 国際司法裁判所（ICJ）でも「パレスチナのガザ地区でイスラエルが国際条約違反のジェノサイドを行っている」という南アフリカが起こした訴訟に対して、「ジェノサイド防止のためのあらゆる措置を取る」ことを命じた。 これに対して、世界各地で、イスラエルのジェノサイドをやめさせることや、即時停戦を求める声が、高まっている。 「国連パレスチナ難民救済事業機関」（UNRWA）の職員がハマスによるイスラエル奇襲に関与した疑いがあるとして、アメリカなど10ヵ国がUNRWAへの資金拠出を停止した。日本政府も同調して資金拠出を停止した。「最後の防波堤」となっているUNRWAが資金難に陥り、緊急人道支援活動を継続することが困難になっていると言う。 「資金がなければ、援助物資を仕入れる事が出来ない。食料や医薬品、水、衛生用品を必要としている新生児を抱えた母親などは最悪の影響を受ける」「資金停止は死刑宣告だ」などの声が上がっている。 イスラエルとハマスの戦闘がもたらした悲劇の実情を直視して、直ちに戦闘をやめることをイスラエル政府に申し入れると同時に、UNRWA への資金拠出を再開することを求めることが大切だと考える。 桐生市議会に置きましたは地方自治法第99条に基づき、日本政府に対して「イスラエル政府に対して、直ちに戦闘をやめるよう要請すると同時に、UNRWA への資金拠出の再開を求める」、意見書を議決していただくよう請願するものである。 請願事項 「イスラエル政府に対して、直ちに戦闘をやめるよう要請すると同時に、UNRWAへの資金拠出の再開を求める意見書」を桐生市議会として日本政府に提出すること。
紹 介 議 員	関口 直久、渡辺 恒
付託委員会	総務委員会
審 査 結 果	令和 6 年 6 月 1 9 日：取下げ承認